

ソーシャルスキルの学習で――

子どもたちの社会性を育て、
生きる力をつける

平成21・22年度に益城中学校区で研究指定を受けた「子どもたちの自立支援事業」において、よりよい人間関係を築くための「あいさつの交わり方」、「上手な聞き方」、「言いにくいことをはっきり伝える」などの学習カリキュラムが作成されました。

それを基盤にして、益城町の全小中学校では、よりよい人間関係を築いていくための学習が学年に応じて進められています。その対人関係能力そのものに焦点を当てて取り組まれているのが、ソーシャルスキル学習です。

ソーシャルスキルとは「対人関係を円滑にするための知識と具体的な技術(人付き合いのコツ)」のことです。

それを学ぶことは、友達との関係で悩みを抱えないようにし、ストレスを少なくし、トラブルを起こさないようにしながら、よりよい対人関係を学ぶことであり、

その方法を知ること、集団の中でより適応した生活ができるような能力を育てることになります。これは不登校の未然防止になり、生きる力にもなります。

小・中学校の9年間で身につけさせたいソーシャルスキルは下記の15項目です。その中から6項目を各学年の発達段階を踏まえて選び、各学年に応じた内容で学習しています。

子どもたちが、学校や家庭、地域での生活をお互いに気持ちよく、楽しく送ることができ、より多くのソーシャルスキルを身に付けるには、子どもたちを温かく見守り、褒め、励ますなど、周囲に支持的風土の高まりがあることが大切です。

町民の皆さまの日常の温かい声かけやご指導によって、子どもたちの社会性が一層良くなるようご協力をお願いします。

(文責 教育委員 藤田享幸)

＊ソーシャルスキル＊

- ① あいさつ
- ② 自己紹介
- ③ 上手な聞き方
- ④ 質問する
- ⑤ 仲間の誘い方
- ⑥ 仲間の入り方
- ⑦ あたたかい言葉かけ
- ⑧ 気持ちを分かって働きかける
- ⑨ やさしい頼み方
- ⑩ 上手な断り方
- ⑪ 自分を大切に
- ⑫ トラブルの解決策を考える
- ⑬ はっきり伝える
- ⑭ きちんと謝る
- ⑮ 怒りをコントロールする



「上手な聞き方」の授業風景



「上手な断り方」の授業